



地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

JAMシニア第1回幹事会

社会保障制度の改悪を許さない

政策制度・活動検討委員会・選挙総括を議論

シニアクラブは、2月7日に三役会議後に共済グループとの意見交換を行い、シニア共済の現状と拡大に向けて80歳以降の継続加入など懸案事項を協議、前進が伺える考え方について話し合った。また8日には第1回幹事会を開催、2017年度政策制度の取り組み方針やシニア活動検討委員会報告、選挙総括について討議した。

幹事会の前段を使って通常国会で審議中の社会保障関連について連合・伊藤彰久局長から講演を受けた。例年であれば津田議員から法案審議状況や論点、法案修正の方向などを詳しく伺うことができたが退任した今はそれができなくなった難しさを感じている。特に

2017年度予算案には、私たちに負担増を強いることで、社会保障費の自然増6400億円を5000億円に抑制する内容が盛り込まれていることを問題視しなければならぬ。伊藤局長は「医療・介護・年金制度の見直しと連合の考え方」として資料をもとに説明を加えたが、いくつか拾ってみただけでもその負担は大きい。例えば、70歳以上の高額療養制度の見直しで、医療費の自己負担の上限が引き上げられる。年収370万円未満で住民税を納めている人は今年の8月から外来受診時の上限が月額1万2000円から1万4000円に、来年8月からは1万8000円へ段階的に引き上げられる。世帯の自己負担限度額も月額4万4000円から今年の8月

には5万7600円になる。ただ年間14万4000円の上限枠の新設は頻繁に通院する人には助かる制度といえる。後期高齢者の保険料軽減特例の見直しは、夫や子に扶養されていた元被扶養者の保険料9割軽減から2年かけて7割、5割軽減へと下げられる。また現役の介護保険料への総報酬割の導入や、年金のマクロ経済スライドなどを含めればシニアも現役も医療・介護・年金における負担が重くなるのしかかってくる。このことに対し幹事から講演者に厳しい指摘と発言が続いた。

2004年4月単組のOB会を結成。その時、雑談のなかで柳ヶ瀬の平和通りを横断できないとAさん。「途中で一服しないと渡れない」と聞き「なぜ」と聞き直した。原因を聞くと「肺の機能が低下している」とのこと。調査すると、

じん肺は死なず

5ミクロンのふん塵との闘い10年

岐阜シニアクラブ会長 北村 務

じん肺は不治の病とされ20、30年の長きにわたり、ふん塵が肺の細胞に蓄積、Aさんのように肺活量が減少するか、合併症で命を落とす職業病の一つである。労働局の統計によれば、2015年全国で管理区分2、4の方はなんと2500人を超え今日なお生き残る疾病だ。

主張



いないことが判明（8割の方が退職者）。該当者8人参加の下労働局へ要請し3回目であろうや、2月に2回、監督署と話し合い休業補償の決定を受ける。12月Aさんは1年3ヶ月の入院治療中72歳で死亡。第7回目労働局交渉、および08年監督署へ遺族補償申請。2月休業補償確約、遺族年金

幹事会は大田会長が座長として議事を進行。活動報告を確認し協議事項では、来賓の河野書記長が実態調査とヒアリングをもとにしたJAM政策実現活動総括を説明、幹事から具体的な活動を通した物足りなさなど率直な意見が出された。その後、社会保障に関する2017年度要求とシニア活動検討委員会報告について討議した。

退職者連合学習会

医療制度 患者負担への転化反対

1月23日、退職者連合は連合会館で医療保険制度に関する学習会を開いた。JAMシニアから大山・豊泉が参加した。退職者連合は新年度の活動として重要テーマの学習を積極的に推進、年金と介護に続き3回目の開催となった。当日は西日本と東北地方を中心に降雪の影響を受けた人も見られたが、退職者連合の加盟産別組織や地方代表など約100人が会場の会議室をビッシリと埋めた。

講師は厚生労働省保険局・泉潤一課長。内容は1月20日に召集された通常国会における医療保険制度の改正(案)について審議経過を含めて説明したもの。阿部会長の挨拶から始まり質疑では「社会保障制度の改悪だ」など課長と会場との真剣なやり取りがされ、シニア世代の医療制度への関心の高さを示した。

阿部会長は挨拶で「社会保障制度の充実

を求めて政府や自治体に要請する時に、社会保障制度の仕組みと問題点をしっかりと把握しておくことが必要だ。そのため昨年8月から厚生労働省の担当官を講師に呼んで学習会を開催してきた」と、開催の主旨を語り、そのうえで「通常国会には医療制度の改正案が提出される。内容は高齢者に対し、負担増を求

める一方で給付を削減するものになっている」と強い口調で指摘。

「医療費に必要な財源は保険料で賄うべきだ。財界が保険料引き上げに反対するからといって、財源を患者負担に転化してはならない」と改正案の内容に厳しく注文をつけた。

講演は、①高齢者と医療の実態、②日本の高齢者医療制度、③高額療養費制度(70歳)、④後期高齢者医療制度の保険料軽減特例、⑤医療保険制度の見直し、

⑥保険事業について解説をつけながら政府の考えを明らかにした。質疑では①臨時収入があり窓口での負担が3割になったが納得がいかない。②後期高齢者医療の保険料軽減特例の区分見直しの狙い

は何か、年金収入との関係はどうなるのか。③高額療養費制度の年収370万と770万の区分はどう決まったのか。④改革工程表にある金融資産を含めて自己負担を決めるのは問題だ。⑤財政議論はか

りて医療の理念や社会性から制度を議論しているのか。⑥社会保障費の伸びを5000億に抑えるのが狙いだ。この改悪で何年持つのか。など踏み込んだ厳しい質問や指摘をする発言が続いた。

の現役役員の協力もいただきながら一層の強化をしていくこと。会員皆さんが参加しやすいブロック活動を進めていくことが確認された。

特別決議として、春に行われる3市の市議会議員選挙に、3人の組織内候補が立候補するにあたりOB会として支援することを決議した。その後、立候補予定者3人から力強い決意表明がされ、無事に総会を終えた。

総会に続いて、前参議院議員の津田やたろう氏から講演をいただいた。12年間の議員活動を振り返っての熱い思いや感想、議員を終えたからこそ話せることなど、大変興味深いであった。

東京 夏の都議選を視野に意気固め

ビンゴゲームで盛り上がる

東京シニアは1月19日(木)、渋谷の「JAM金属労働会館」大会議室に会員43人、来賓・他7人の総勢50人の皆さんが集まり、新年の顔合わせと今年の活動充実を祈念しての旗開きが開催された。

小川 秀樹通信員

れ、更にこの夏に実施

シニアクラブホームページを開設
インターネットで「JAMシニアクラブ」と入力し検索するとホームページにつながります。
会員の皆さんで活用してください。
アドレス <http://jam-senior.club/>

冒頭、古家会長から会員相互の交流を図る街歩きや講演会など、今年の活動の一部に触



される「東京都議会選挙」では現役の方針に沿った展開をしていくので、交流活動参加とともに会員の皆さんのご協力をお願いする旨の代表挨拶がされた。

JAM東京千葉・橋本書記長、シニア本部・大野事務局長、千葉シニア・畑山会長、津田智紀前大田区議員、川上西多摩地協議長、全労済・神谷係長から来賓の皆様の手紙のご挨拶を受けた。

懇親会に入り、あちこちのテーブルで

は「欠席者のアイツドウしてる」、お菓解説や健康自慢など久しぶりの会話が弾んでいた。宴中盤になり、恒例のビンゴ大会が始まる。

ビンゴが完成すると百円のカンパと引き換えにスクラッチくじや、各種の景品(外れ無し)、特に今年の目玉景品となった「焼酎・佐藤」「日本酒・久保田紅寿」の争奪戦で大いに盛り上がった。カンパ金5886円はJAM東京千葉福祉カンパに寄付された。



活動計画では、会員加入拡大に向けて単組

新間会長の挨拶を皮切りにJAM静岡代表とシニアクラブ大山会長より祝辞をいただいた。2016年活動報告・決算報告、2017年活動計画・予算案の審議を行い全会一致で承認された。

活動計画では、会員加入拡大に向けて単組

静岡 第23回定期総会を開催

市議会議員選挙の支援を決議

二村 政司通信員

館で行った。

特別決議として、春に行われる3市の市議会議員選挙に、3人の組織内候補が立候補するにあたりOB会として支援することを決議した。その後、立候補予定者3人から力強い決意表明がされ、無事に総会を終えた。

総会に続いて、前参議院議員の津田やたろう氏から講演をいただいた。12年間の議員活動を振り返っての熱い思いや感想、議員を終えたからこそ話せることなど、大変興味深いであった。